

令和5年10月6日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 川森 大輔
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 平内・佐藤・上野（電話）03-3438-9932
（FAX）03-3438-0371

社会福祉法人経営動向調査（2023年9月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、四半期毎（3月、6月、9月、12月）に社会福祉法人経営動向調査を実施しています。今回は2023年9月に実施した本調査の結果についてご報告します。

詳細はホームページ (<https://www.wam.go.jp/hp/sh-survey/>) に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：特別養護老人ホーム（以下「特養」という。）を運営する社会福祉法人 530 法人
- 調査事項：社会福祉法人および特養の業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、2023年度の経営状況および原油価格や物価高騰による影響
- 回答数：403
- 有効回答数：403
- 有効回答率：76.0%
- 実施期間：2023年9月1日（金）～2023年9月22日（金）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【社会福祉法人の動向】

- 業況のDIは、前回調査から1%ポイント上昇し、 $\Delta 11$ となった。
- サービス活動収益のDIは、前回調査から2%ポイント上昇し、 $\Delta 7$ となった。
- 資金繰りのDIは、前回調査から1%ポイント上昇し、 $\Delta 18$ となった。
- 従業員数のDIは、前回調査から1%ポイント低下し、 $\Delta 64$ となった。
- 経営上の課題として「職員確保難」を挙げた法人は、前回調査から5.2ポイント上昇し、69.5%となった。（P.8「3-1 社会福祉法人全体」を参照）

【特養の動向】

- サービス活動収益のDIは、前回調査から2%ポイント上昇し、 $\Delta 6$ となった。
- サービス活動収支（黒字・赤字）のDIは、前回調査から6%ポイント上昇し、 $\Delta 3$ となった。
- 施設全体の従業員数のDIは、前回調査から6%ポイント低下し、 $\Delta 63$ となった。

【その他の調査項目】

- 2023年度上半期のサービス活動収益（見込み）について、前年度同期比5%以上増加する見込みの施設が11.3%、5%以上減少する見込みの施設が17.8%となった。また、サービス活動増減差額（見込み）は、前年度同期比5%以上増加する見込みの施設が14.5%、5%以上減少する見込みの施設が33.8%となった。
- 2023年4～6月において、99.8%の施設が原油価格や物価高騰により何らかの影響を受けていると回答し、うち前年度同期比で費用負担が増加した施設は88.3%であった。

以上